

文化審議会国語分科会日本語教育小委員会（第112回）

難民等に対する日本語教育

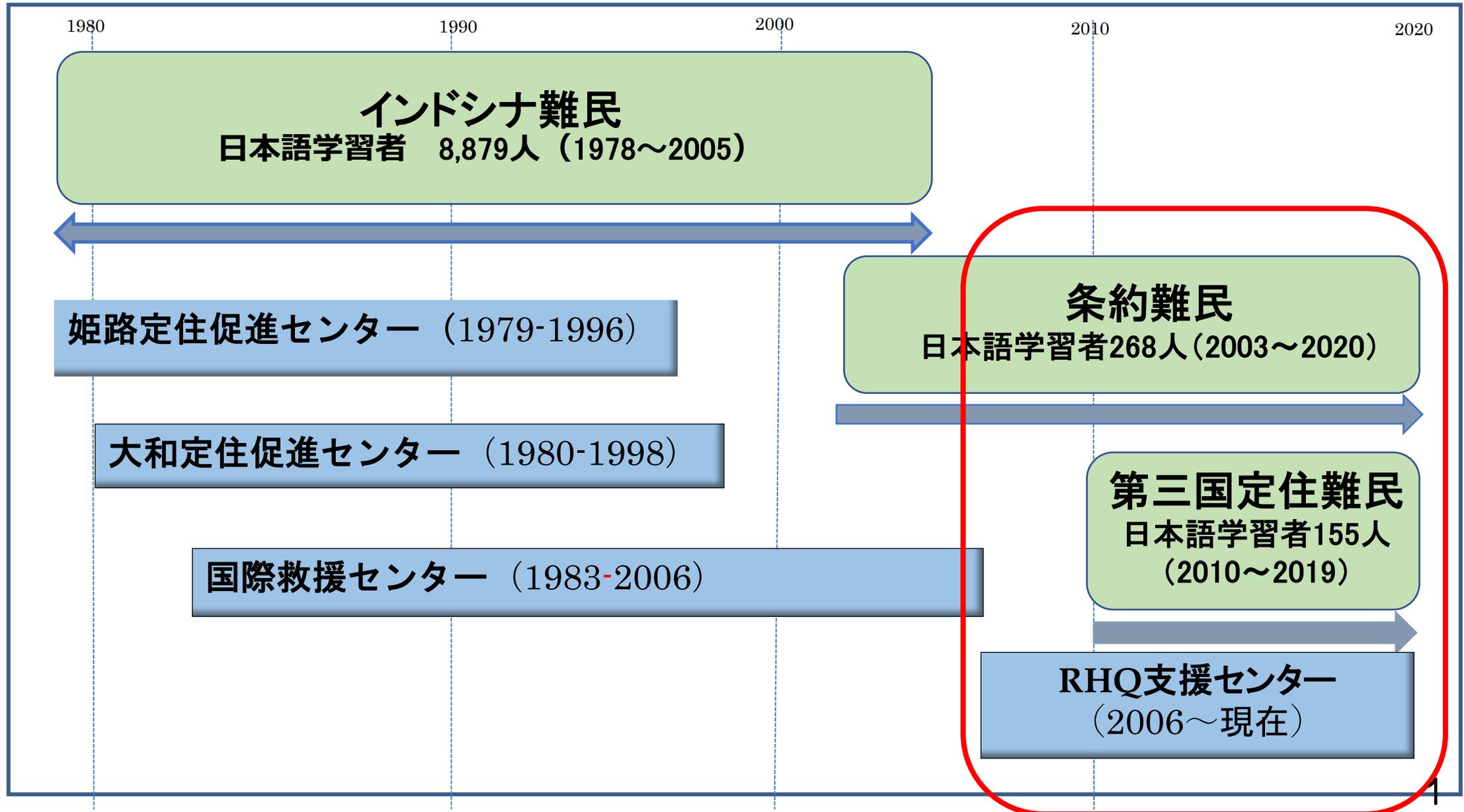
～RHQ支援センターでの定住支援プログラムを中心に～

宮下しのぶ

公益社団法人国際日本語普及協会常務理事

RHQ 日本語教育監督者

難民への公的な日本語教育の歴史



RHQ支援センターのコース・時間割・実施体制

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
条約難民 (半年コース)	(前期)月～金 9:30～15:50						(後期)月～金 9:30～15:50					
条約難民 (1年コース)	月～金 18:30～20:55											
第三国定住難民 (半年コース) 成人／子ども	月～金 9:30～15:50						月～金 9:30～15:50					

<https://www.rhq.gr.jp/support-program/>

(公財) アジア福祉教育財団難民事業本部HP

ウクライナ避難民に対する初期日本語教育 1日4時間 x 週5日 最長150時間コース
(サバイバル40時間 入門80時間 初級150時間)

RHQ支援センターでの日本語教育内容

ユニット学習

挨拶・数
日常生活の日本語
仕事の日本語
地域でのコミュニケーション
表現(自分・家族、自国)

総合型・活動型学習

体験学習
戸外学習
地域交流 他

生活ガイダンス

一般言語項目

ひらがな、かたかな
基本漢字、生活漢字
作文・読解
語彙・基本文型・初級文法
学習日記

4技能のいずれかに
フォーカスして学ぶ

フロンティア♪

詩や歌による
表現活動

日本語 572授業時限
生活ガイダンス 120時限
(1授業時限=45分)

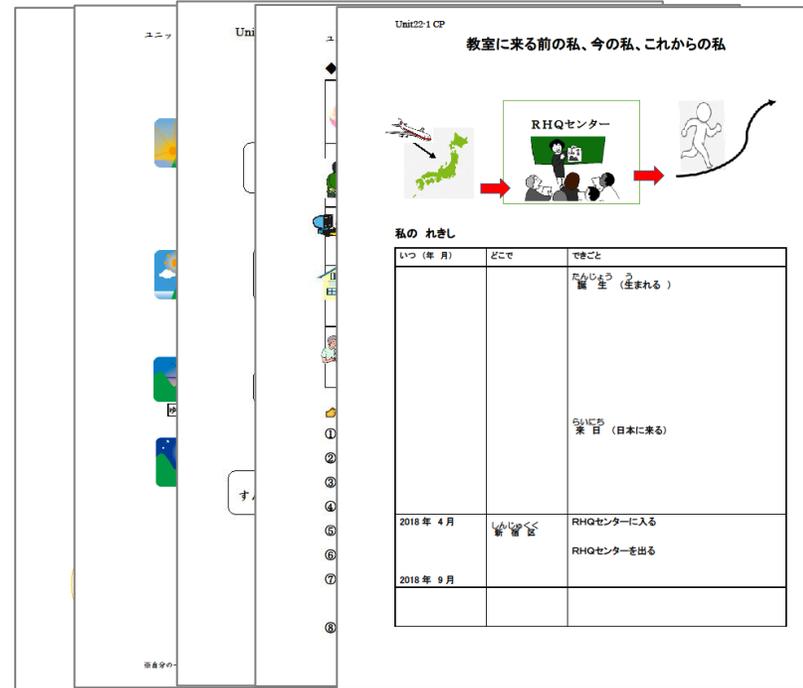
ユニット学習（総合型・活動型学習）

【学習項目 例】

1. 自己紹介
 2. 何がある？誰がいる？
 3. 買い物・外食
 4. 一日の生活
 5. 交通安全・交通機関
 6. 町へ出かけよう
 7. 健康と病気・病院の利用
 8. 身近な人をもっとよく知る
 9. 仕事と職場
 10. 季節の行事
 11. 地域のコミュニケーション
 12. 職場のコミュニケーション
 13. あなたがコーチ
(地域参加活動)
 14. 緊急事態発生
 15. 公共マナー
 16. ふるさと紹介
 17. 地域で暮らす
 18. 人物紹介
 19. 比べてみよう
 20. 教室に来る前の私、
今の私、これからの私
- ＜学習発表会＞

＜ユニット学習項目の構成＞

- ・ 毎日の生活や職場で役立つ **実用的**なユニット
- ・ 自己を肯定し、**自己表現**を促進するユニット
- ・ 日本語を使って他者と関わり、**人間関係構築**を図るためのユニット
- ・ 日本の**生活様式**、**社会習慣**についての基礎知識を習得するユニット



毎日の生活や職場で役立つ
実用的なユニット

自己表現を
促進するユニット

他者と関わり、
人間関係構築を図るユニット

総合的なコミュニケーション力を培う

ユニット 教室に来る前の私、今の私、これからの私

Unit22 教室

<RHQに来る前の私>

あなたのくに

Unit22 ワ

<RHQに来る前の私>

●センター

? nihon

1. 日本語

2. そのと

3. はじめ

4. いつ、

5. そのあ

※□の中に自由

Unit22

ユニット 22 ワ

ユニ

あ・ア え、

い・イ お、

う・ウ か、

(ひらが

※RHQでどんな勉強

Unit22 ワークシ

<RHQに来る前の私>

Q RHQの日本

Q ユニットでそれはど

ユニット 1
 ユニット 5
 ユニット 8
 ユニット 10
 ユニット 12
 ユニット 9
 ユニット 15
 ユニ
 ユニ
 ユニ
 ユニ

※CP や今までのユニ

Unit22 ワークシート②-2 今の私

Q RHQでべんきょうして、かわったとおもいますか
なにが できるようにな

Listen

<話す> <聞く>

Q それができるようになって
なにかわかりましたか。

※CP や今までのユニットの資料を見なが

ユニット 22 ワークシート③ これからの私

<RHQに来る前の私> → <今の私> → <これからの私>

Q これからもっとがんばりたいことは、なんですか。
<話すこと> <聞くこと> <読むこと> <書くこと>

Q RHQをでてから、どうやって日本語のべんきょうをつづけていきたい
ですか。
いつ? どこで? なにをつかって?

Q あなたの つぎの日本語のもくひょう(ゴール)は なんですか?

参考: 国際交流基金「日本語ドキドキ体験交流活動集」

※自習学習に向けて、学習者が考える手助けをしてあげましょう。

172

自分と日本語との出会いを振り返り、センターでの日本語学習を振り返り、コース修了後の目標を定める。

自己評価表

- ・コース中間時～終了時に
日本語力を自己評価

ひとりで
はなす

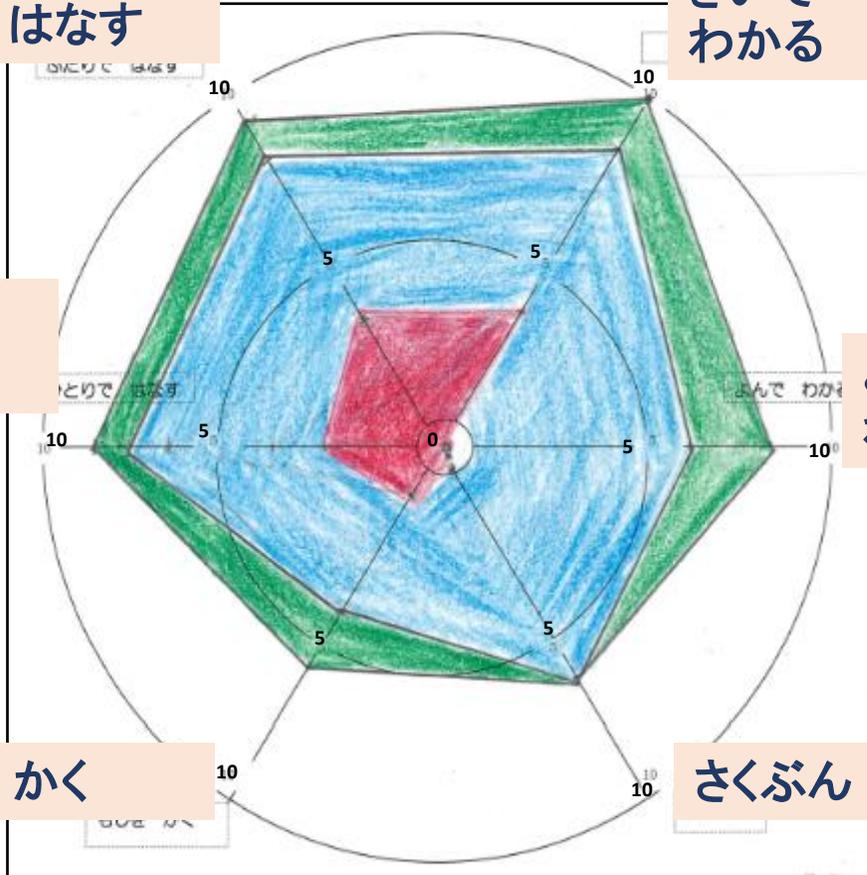
きいて
わかる

ふたりで
はなす

よんで
わかる

もじを かく

さくぶん



聞いて分かる
読んで分かる
二人で話す
一人で話す
書く (文字)
書く (作文)

中間カウンセリングシート 2018年1月17日(水)【大人2組】

1. 今、日本語の勉強で、楽しいこと(好きなこと)は何ですか。..

2. 日本語の勉強で、むずかしいと思うことがありますか。..

3. 日本

4. 日本

5. 10月 (まえ)

6. セン

7. つぎ

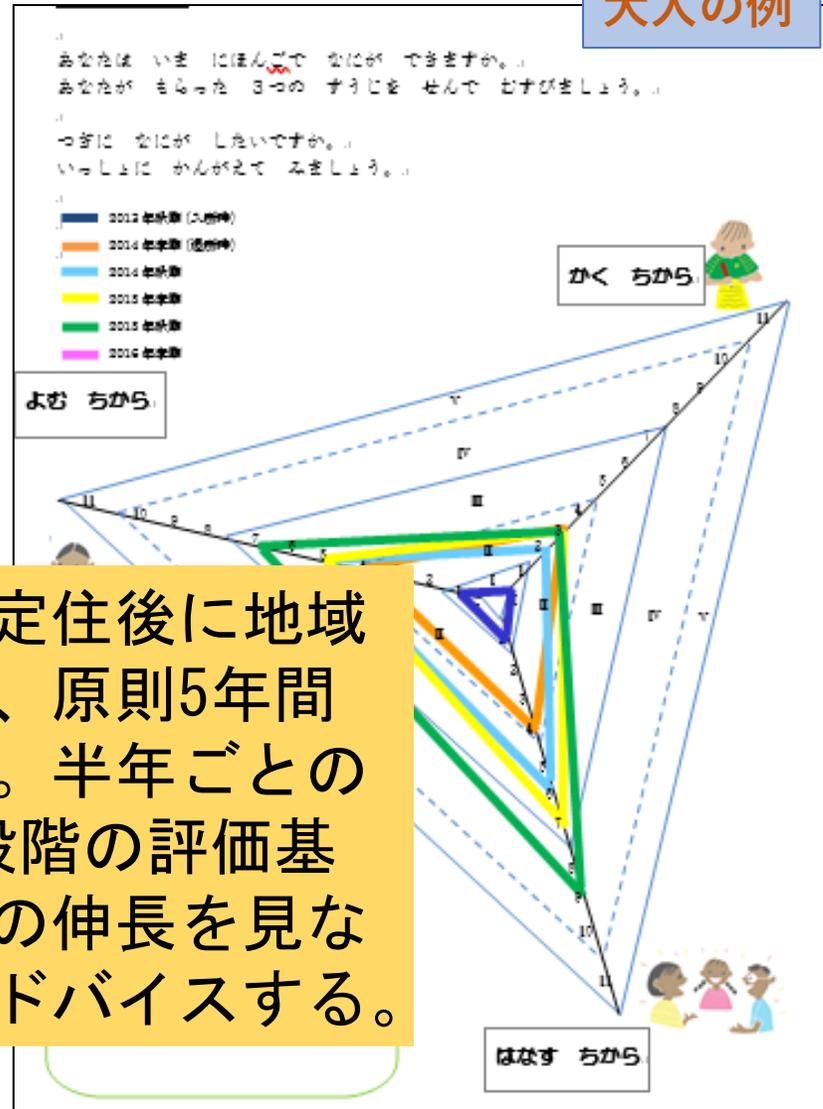
⑩ 近い目

近い目標 (2年~10年程~将来) ..

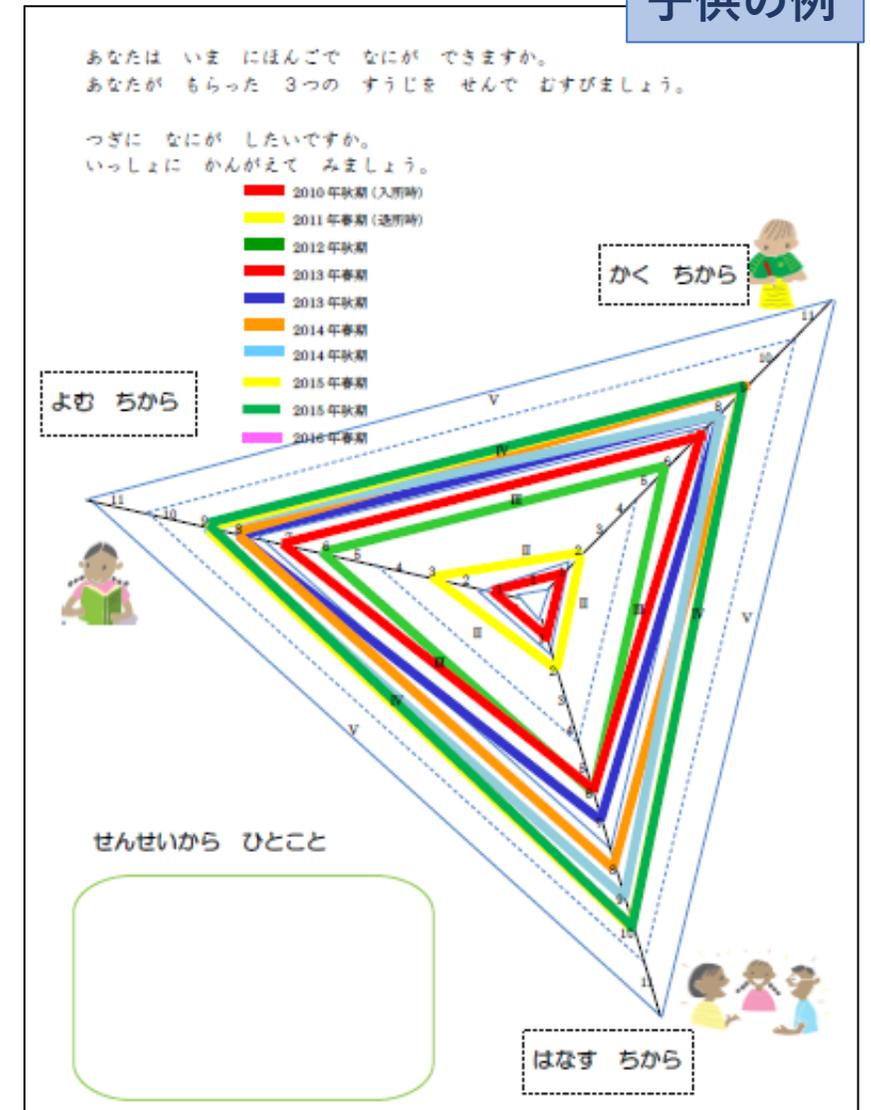
自律学習能力の育成を目指す

第三国定住難民 フォローアップ調査 ポートフォリオ

大人の例



子供の例



第三国定住難民は、定住後に地域日本語教室に引継ぎ、原則5年間継続して支援を行う。半年ごとの日本語能力調査で5段階の評価基準に沿って日本語力の伸長を見ながら、学習方法をアドバイスする。

RHQセンターでの子どもの日本語教育

ユニット学習

挨拶、友達作りのための表現等、日常生活・学校生活のために必要な知識やコミュニケーション力

一般言語項目

ひらがな・かたかな・漢字 語彙
絵本読み聞かせ、読書指導
国語教科書音読、プロソディ

国語、算数、生活、理科、社会、
体育、音楽、図工、家庭科

衛生習慣、身だしなみ、交通安全
学校生活習慣、季節行事

教科学習

生活指導

学校体験（3週間）

定住地の学校へのソフトランディングを目的とする

生活者としての外国人の 言語習得スキーム

自立した言語使用者へ

初期集中日本語研修

行動体験活動
地域参加体験

定住地の地域日本語
教室への引継ぎ

職場・学校・地域
での生活体験

